

目 次

はじめに

第 1 章 環境教育学の基礎理論構想のための予備的考察 ————— 今村 光章 1

- 1 環境教育学の構築を目指す理由 1
- 2 環境教育学の構築を目指す際に留意すべき点 5
- 3 環境教育研究・環境教育論と環境教育学との差異について 9
- 4 環境教育学とは何か 13

第 2 章 「環境教育のプラットフォーム」というアイデア ————— 井上 有一 17

- 1 環境教育学に求められるもの 17
- 2 ディープ・エコロジー運動 19
- 3 「環境教育のエプロン・ダイアグラム」というアイデア 22
- 4 プラットフォームには何が位置づけられるのか 25
- 5 「環境教育のプラットフォーム」の構成要素を考える 28
- 6 「環境教育のプラットフォーム」から環境教育学を拓く 30

第 3 章 自然保護教育と環境教育の連続・非連続問題から 環境教育学を考える ————— 降旗 信一 34

- 1 連続・非連続問題とは何か 34
- 2 自然保護教育研究の到達点 37
- 3 問 1 の検討 41
——自然保護教育を特徴づけるもの、そして公害教育との関係性
- 4 問 2 の検討 46

——「自然保護教育の歴史」は、「日本独自の環境教育の歴史」と言えるのか？ あるいは言えないのか？

- 5 環境教育学とは何か 48

第4章 環境教育の礎としての公害教育 —— 高橋 正弘 51

- 1 公害教育誕生の契機となる公害問題 51
 2 公害教育が果たした役割 53
 3 公害教育が制度化されたことの意義 57
 4 放射線教育の誕生と展開 61
 5 環境教育学とは何か 63
 ——「よそ者」による公害教育の可能性

第5章 開発教育の視点から環境教育学を構想する

————— 田中 治彦 68

- 1 これからの地球社会 68
 2 開発教育と環境教育との関係性 73
 3 環境教育と開発教育の独自性 75
 4 様々な開発論と環境教育 78
 5 開発論を内包した環境教育学の可能性 81

第6章 学校における環境教育学の構想 —— 荻原 彰 84

- 1 近代学校制度の使命と宿痾 84
 2 環境教育にできること 87
 ——知のはしごをたばねる
 3 環境教育にできること 93
 ——社会関係資本の再生
 4 環境教育学とは何か 98
 ——暗黙知と形式知の往還という視点

第7章	小学校教育現場から環境教育を再考する	飯沼 慶一	101
1	小学校低学年児童の「自然体験」と教師の役割		101
2	プログラム型学習とプロジェクト型学習		106
3	プログラム型からプロジェクト型環境教育への移行私案		109
4	環境教育学の今後に向けて		113
第8章	環境教育の教科化の是非を問う	諏訪 哲郎	115
1	問題の所在		115
2	日本の学校での環境教育の分散指導と韓国の教科化指導		117
3	環境教育の教科化の必要性和可能性		122
4	環境教育の教科化に向けた準備		127
5	環境教育の教科化と環境教育学		129
第9章	ドイツにおける環境教育の光と影	原田 信之	132
	—PISA ショック後の重点シフト		
1	先細る「環境教育」の学術書		132
2	20世紀の環境教育		133
3	PISA ショック後のドイツの学校教育		138
4	コンピテンシー構築志向型教育下におけるESD（環境教育）		141
5	「環境教育学」とは何か		146
第10章	環境教育学におけるソーシャル・イノベーションの視点	西村 仁志	149
1	環境教育と環境問題		149
2	ソーシャル・イノベーションとは		150
3	自然学校の教育実践を手がかりに		154
4	環境教育のゴールとしてのソーシャル・イノベーション		160

5	ソーシャル・イノベーションと環境教育学	161
---	---------------------	-----

第11章 「地域」の視点からの環境教育学を構想する ————— 小栗 有子 164

1	環境教育〈学理論〉の範疇に置く基本問題	164
2	環境教育論と環境問題が出合う新しい地平	168
3	環境教育〈学理論〉を構想するための「地域」概念	173
4	環境教育学とは何か	177

第12章 自己変容と社会変容の学びの連関 — 佐藤 真久 181 ——協働ガバナンスと社会的学習の相互連関に向けて

1	グローバル化時代の環境教育	181
2	持続可能な開発のための教育（ESD）	183
3	多義性と能力結合に基づく「統合的な行動アプローチ」	185
4	地域協働を通じた「協働ガバナンス」と「社会的学習」の相互連関	187
5	環境教育学とは何か	191

第13章 生きる環境教育学 ————— 今村 光章 196 ——深化し越境し変貌する可能性を求めて

1	環境教育における反省的省察の可能性	196
2	私の環境教育研究史の反省	199
3	環境教育学の新たなる境界域	204
4	教育実践に活きる環境教育学	210

おわりに

索引

執筆者紹介